

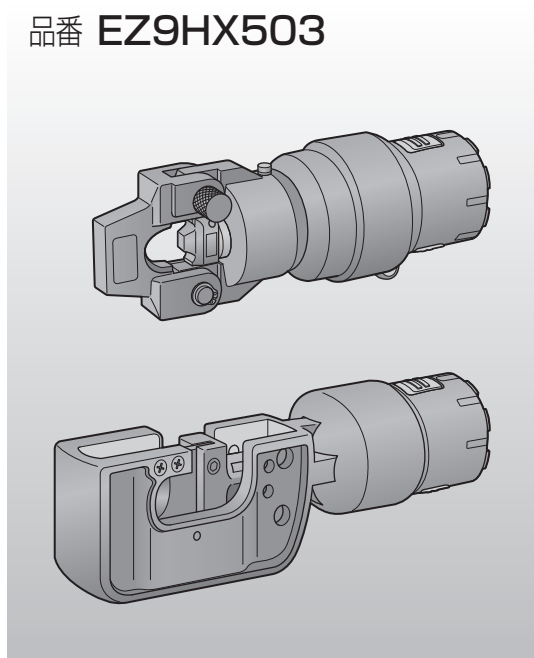
取扱説明書

圧着アタッチメント

品番 EZ9HX502

ケーブルカッターアタッチメント

品番 EZ9HX503



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(2～6ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。



もくじ

安全上のご注意.....	2～6
各部のなまえ	7～8
・付属品・別売品.....	8
作業前の準備	9
圧着アタッチメント:	
準備	9～12
作業	13～15
作業終了	16～17
ケーブルカッターアタッチメント:	
準備～作業～終了	18～19
準備・メンテナンス	20～21



能力.....	22
仕様.....	23



人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。


 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。




■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)





	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。



 警告	
 必ず守る	●指定の付属品やアタッチメントを使用する。 守らないとけがをするおそれがあります。
	●作業する場所は十分に明るくする。 暗く視界が悪いと事故やけがの原因になります。
	●加工するものはしっかり固定する。 不意に動き、けがをするおそれがあります。
	●脱着ピンは確実に差し込む。 本体が破損し、けがのおそれがあります。
	●オスダイスとメスダイスが接触するまで操作を行なう。 圧着不良で火災などのおそれがあります。
	●きちんとした服装で作業する。 ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれるおそれがあるので、着用しないでください。 ・屋外での作業の場合には、滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。 ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
●ダイスやケーブルカッター刃は取扱説明書にしたがって確実に取り付ける。 本体の破損やけがのおそれがあります。	

 **警告**

 必ず守る	●メスダイス開閉時にメスダイスと本体の間に指をはさまないように注意する。 けがのおそれがあります。
	●ケーブルの種類により切りかすが跳ねることがあるので十分注意する。 けがのおそれがあります。
	●肩掛けベルトは本体にしっかりと取り付け、ご使用前はベルトの長さを確認する。 本体の落下によるけがのおそれがあります。
	●使用中は振り回されないよう本体を確実に保持する。 けがのおそれがあります。
	●アタッチメント、付属品の交換時、本体保管時は必ず電池パックを本体からはずす。 守らないと不意に動作して事故になるおそれがあります。
	●ケーブルカッターアタッチメントでの連続作業時には、アタッチメント本体が高温となるので、触れないように注意する。 やけどのおそれがあります。
	●圧着アタッチメントでの連続作業時には、オスダイスやその周辺部が高温となるので、触れないように注意する。 やけどのおそれがあります。
	●圧着時に圧着完了ラインがあらわれないときは、作業をすぐに中止し修理に出す。 圧着不良で火災などのおそれがあります。
	●圧着アタッチメントのワイヤー通し穴は電池パック側の3方向に向けて、本体に取り付けて使用する。 他の方向に取り付けて使用すると、ワイヤー通し穴破損のおそれがあります。
●圧着アタッチメントのワイヤー通し穴付近の傷や変形、割れないことを確認する。 ワイヤー通し穴破損による落下の際のけがのおそれがあります。	
●作業時は保護めがねを使用する。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用する。 守らないと目、のどに傷害を受けるおそれがあります。	

 警告	
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめ、本体とアタッチメントが落下しないようにワイヤーなどで保持する。 本体が落下してけがをするおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、ただちにスイッチを切って使用を中止する。 お買い上げの販売店、または、パナソニックお客様ご相談センターにご相談ください。そのまま使用していると、けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●圧着アタッチメントはインパクトドライバー専用です。 圧着不良で火災などのおそれがあります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●通電中の電線には使用しない。 感電のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●作業中は可動部に触れない。 けがのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●指定の端子・スリーブ以外には使用しない。 圧着不良で火災などのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●切断途中に、ケーブルを動かさない。 けがのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●指定された用途以外に使用しない。 けがをするおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●肩掛けベルトの状態を確認し、傷や破れ等がある場合は使用しない。 ●肩掛けベルトは肩部にしっかりと掛けて、肩部以外の場所に引っ掛けない。 不意の落下による事故のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●可動部のすき間に指を入れない。 けがのおそれがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ●人に向けない。 けがのおそれがあります。 	

 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●カラ押し、カラ戻しをしない。 破損によるけがのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●ケーブルカッター刃交換時は、刃先に触れない。 けがのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●作業中は可動部に触れない。 けがのおそれがあります。
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●改造はしない。また、分解したり修理をしない。 火災・感電・けがのおそれがあります。 修理はお買い上げの販売店または、当社ご相談窓口にご相談ください。
 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししない。 感電のおそれがあります。

 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●子供の手の届くところに置かない。 事故やトラブルのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●本体を、50℃以上になる場所に保管しない。 動作異常のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●無理な姿勢で作業をしない。 転倒してけがをするおそれがあります。 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●疲れている場合は使用しない。 事故やけがのおそれがあります。

⚠️ 注意



禁止

- 子供など作業員以外を作業場に近づけたり、充電工具や充電器に触れさせたりしない。
けがのおそれがあります。
- 本体を投げない。
故障のおそれがあります。
- 刃が閉じる前に荷重が加わるような切断はしない。
故障のおそれがあります。
- 本体のネジをゆるめない。
規定の油圧力(出力)が出ず、圧着不良や本体の故障のおそれがあります。
- ケーブルカッターの刃先に触れない。
けがのおそれがあります。
- ケーブルカッター使用時にはケーブル以外は切断しない。
故障のおそれがあります。

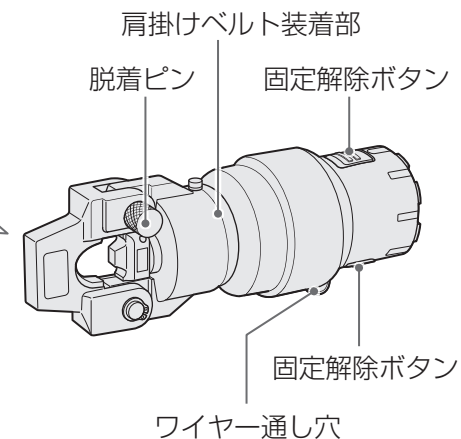
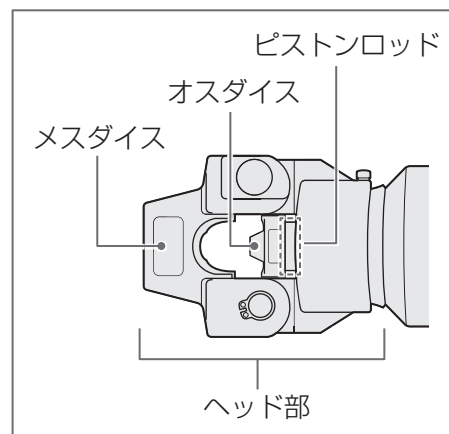


必ず守る

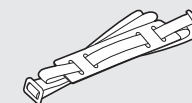
- ケーブルカッターの刃を閉じるときは伸縮部での指はさみに注意する。
けがのおそれがあります。
- ケーブルカッターは、必ず刃を閉じた状態で保管する。
けがや故障のおそれがあります。
- 使用前に、本体、電池パック、充電器およびアタッチメントやその他の部品が損傷がなく正常に作動することを確認する。
守らないと破損などによりけがをするおそれがあります。
- 作業する場所はきれいに保つ。
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- 取り扱いや作業の方法、周りの状況などに十分注意し、常識を働かせて作業する。
守らないと事故やけがのおそれがあります。
- 工具類の交換は、手袋・ウェスなどで手を保護してから行なう。
けがの原因になります。

各部のなまえ

■EZ9HX502 圧着アタッチメント

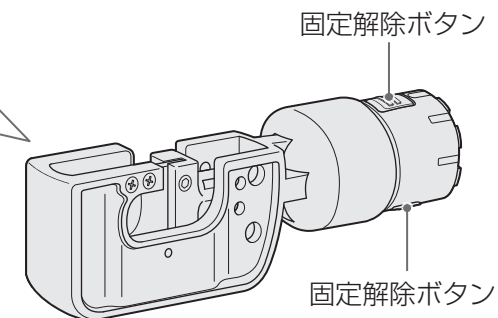
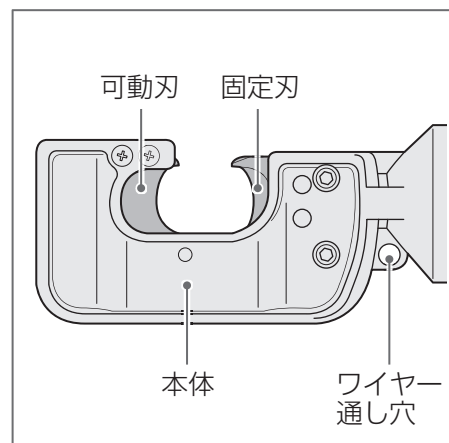


持ち運びに便利な肩掛けベルトを付属
取り付けかたは **P12 参照**

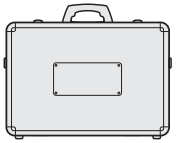
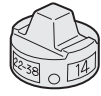
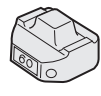
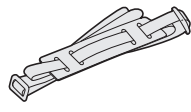
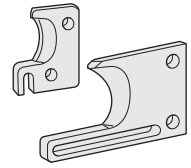


使用前に

■EZ9HX503 ケーブルカッターアタッチメント



付属品・別売品

商品	付属品		別売品の有無
	EZ9HX502	EZ9HX503	
アルミケース 	○	—	○ EZ9K05
オスダイス 14-38 (EZ9HX502用) 	○	—	○ EZ9HX52F701(※1)
オスダイス 60 (EZ9HX502用) 	○	—	○ EZ9HX52F711(※1)
肩掛けベルト (EZ9HX502用) 	○	—	○ EZ7880L3418(※1)
替刃セット (固定刃、可動刃、 ネジ、六角レンチ) 	—	—(※2)	○ EZ9HX53F701(※1)

※1 補修用部品としてお買い求めできます。

※2 ご購入時点では固定刃、可動刃、ネジは組付けられております。

別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループの
ショッピングサイト

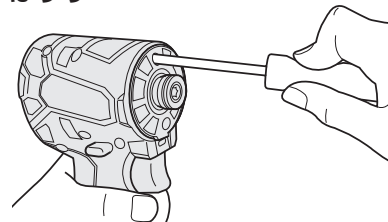
<https://ec-plus.panasonic.jp/>



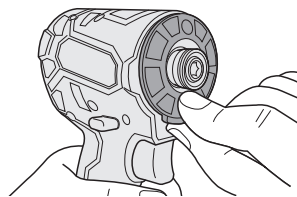
ドライバー本体からプロテクターを取りはずしてください。

※出荷時はプロテクター固定ネジによる固定はしていません。
(付属品として同梱しています)

1 プロテクター固定ネジ2本をはずす



2 LEDライト上部の突起を持ってプロテクターをはずす



準備中のご注意



警告

- 肩掛けベルトは本体にしっかりと取り付け、ご使用前はベルトの長さを確認する。
- 肩掛けベルトの状態を確認し、傷や破れ等がある場合は使用しない。取り付けが不完全なままで使用すると本体が落下してけがのおそれがあります。
- 肩掛けベルトは肩部にしっかりと掛けて、肩部以外の場所に引っ掛けない。不意の落下による事故のおそれがあります。

作業中のご注意



警告

- 指定の端子・スリーブ以外には使用しない。圧着不良で火災などの原因になります。
- 脱着ピンは確実に差し込む。本体が破損し、けがのおそれがあります。
- 使用中は振り回されないよう本体を確実に保持する。けがのおそれがあります。
- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめ、本体とアタッチメントが落下しないようにワイヤーなどで保持する。本体が落下してけがをするおそれがあります。

圧着アタッチメント:準備(つづき)

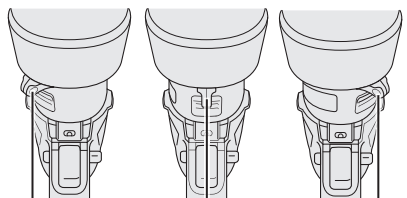
作業中のご注意

警告

- アタッチメント、付属品の交換時、本体保管時は必ず電池パックを本体からはずす。
守らないと不意に動作して事故になるおそれがあります。
- ワイヤー通し穴付近の傷や変形、割れがないことを確認する。
ワイヤー通し穴破損による落下の際のけがのおそれがあります。
- ワイヤー通し穴は電池パック側の3方向に向けて、本体に取り付けて使用する。
他の方向に取り付けて使用すると、ワイヤー通し穴破損のおそれがあります。

電池パック側の3方向を
本体正面から見た図

例1 (左斜め45度) 例2 (垂直) 例3 (右斜め45度)



ワイヤー通し穴 ワイヤー通し穴 ワイヤー通し穴

- 本体を雨や水のかかるところで使用しないでください。故障の原因になります。
- 本体が熱くなったら作業を中断し、温度が下がってからご使用ください。
- 高圧線の近くなど、電磁波の多いところでは誤動作をおこす可能性があります。誤動作がおきた場合は、電池パックを取りはずして再度取り付けてください。

1 圧着する端子・スリーブに合ったダイスを選定する

- 誤った組み合わせにするとダイス破損のおそれがあります。

組み合わせ表

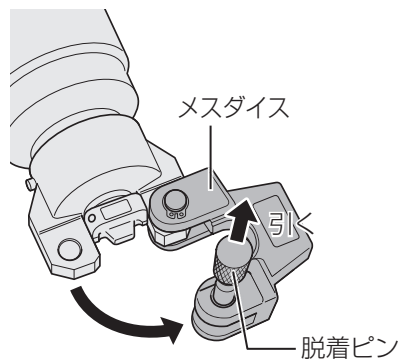
端子・スリーブの呼び	オスダイス	メスダイス
14	14-38	14-60
22		
38		
60	60	

JIS規格に準じた端子・スリーブを使用してください。

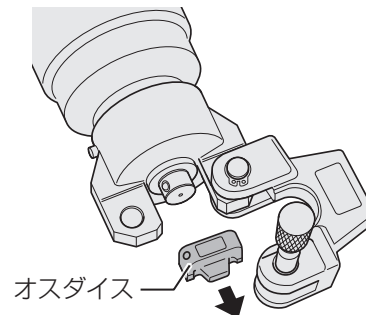
- JIS C 2805銅線用裸圧着端子
- JIS C 2806銅線用裸圧着スリーブ

2 ダイスを交換する

- ①脱着ピンを引き出し、メスダイスを開く

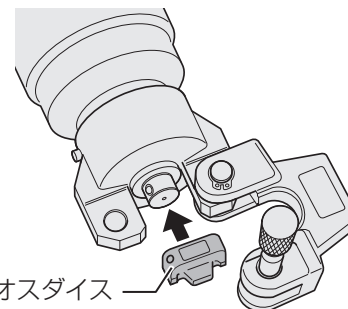


- ②オスダイスをはずす



- ③オスダイスを取り付ける

※手順1の組み合わせ表より選定したオスダイスをピストンロッドに装着します。
このときオスダイスは適合サイズが正面になるように取り付けてください。
14と22・38は取り付け方向が異なります。

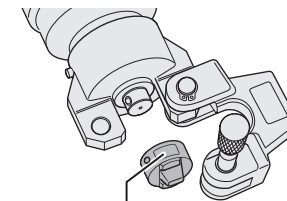


オスダイスは本体に確実に差し込んでください。

※ピストンロッドの初期高さは製品によって多少上下差がありますが圧着性能に影響はありません。

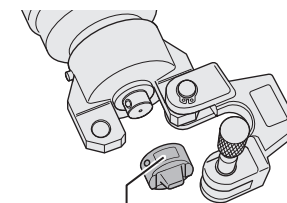
オスダイス 14-38の場合

適合サイズ 14 で装着する場合



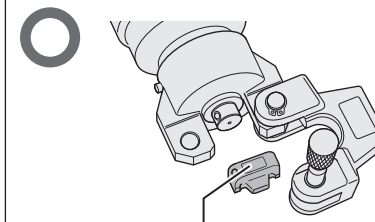
「14」の刻印が見える向きで装着する

適合サイズ 22・38 で装着する場合

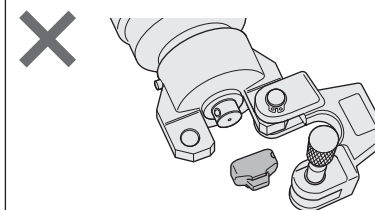


「22・38」の刻印が見える向きで装着する

オスダイス 60の場合

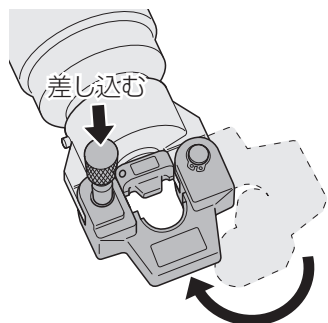


「60」の刻印が見える向きで装着する



刻印のない向きでオスダイスを装着しないでください。圧着性能が悪くなったり、故障の原因になります。

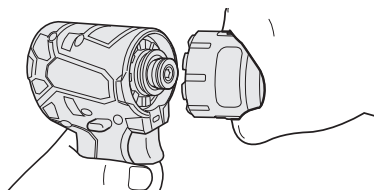
- ④メスダイスを閉じて、脱着ピンが突き当たるまで確実に差し込む



3 電池パックをはずしてから、アタッチメントを取り付ける

取り付けたい角度(8方向あります)に合わせて本体に押し付けて固定する(カチッと音がすると取付完了です)

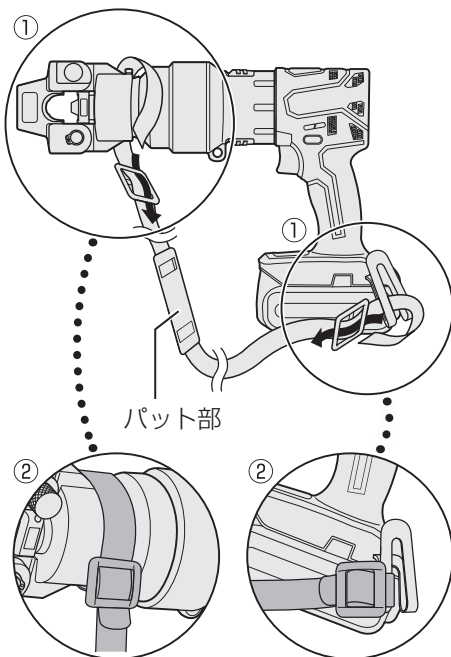
- アタッチメントを軽く引っ張って、本体からはずれないことを確認してください。



- 本製品はインパクトドライバー専用です。圧着不良を起こし発熱して火災事故をまねくおそれがあります。

4 持ち運びに便利な肩掛けベルトを取り付ける

- ①ベルトをアタッチメントの肩掛けベルト装着部と、ドライバー本体のフックに巻き付ける
- ②ベルト長さ調節部に通し、調節するとともに、抜け落ちないように、締め付けるようにアタッチメントに取り付ける

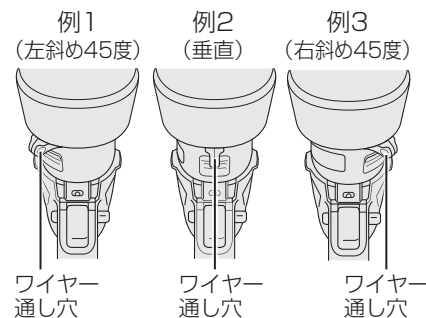


- 肩掛けベルトの長さは個人に合わせて調節できます。
- 肩掛けベルトのパット部を肩に当たる部分に合わせてください。
- 肩掛けベルトを引っ張り、本体にしっかりと取り付けられていることを確認してください。

警告

- 作業中は可動部に触れない。けがのおそれがあります。
- 通電中の電線には使用しない。感電のおそれがあります。
- ワイヤー通し穴付近の傷や変形、割れがないことを確認する。ワイヤー通し穴破損による落下の際のけがのおそれがあります。
- ワイヤー通し穴は電池パック側の3方向に向けて、本体に取り付けて使用する。他の方向に取り付けて使用すると、ワイヤー通し穴破損のおそれがあります。

電池パック側の3方向を
本体正面から見た図

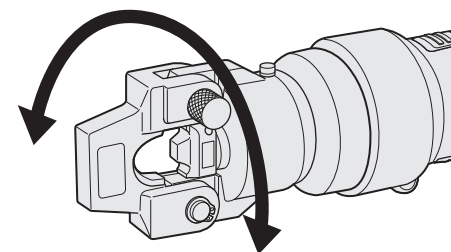


- カラ押し、カラ戻し操作(部材を入れない状態での圧着動作)はしないでください。ダイスの破損および本体の寿命に影響します。(本体を長くお使いいただくためにもカラ押し操作はしないでください)

- インパクトドライバー使用時は強モードでの作業をおすすめします。(強モード以外では完全に圧着できない場合があります)

1 ヘッド部を作業しやすい角度に調整する

- ヘッド部を左右に回転させて調整してください。

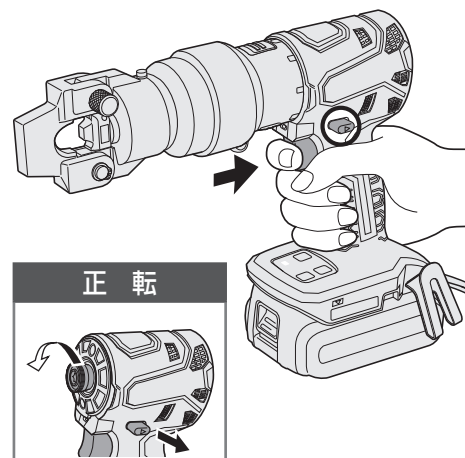
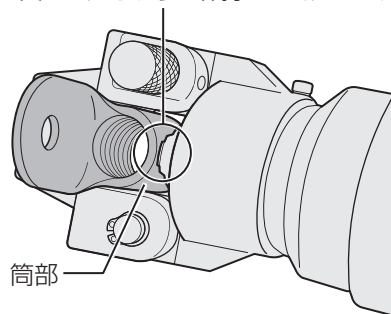


使いかた

圧着アタッチメント:作業(つづき)

2 ドライバー本体のスイッチを引き正転させて端子・スリーブの仮押さえをする

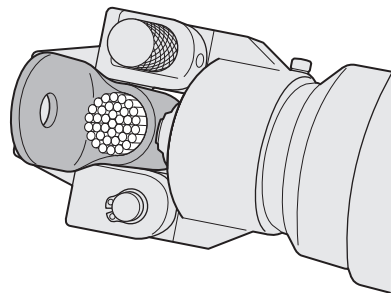
- オスダイスが端子・スリーブ筒部の中央にあたるように保持してください。



- リチウムイオン電池パックの使用温度範囲は0℃～40℃です。寒冷地などで0℃以下に冷えた電池パックをそのまま使うと、本体が正常に動作しない場合があります。このときはご使用前に電池パックの温度を上げるために10℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がったあとで使用してください。

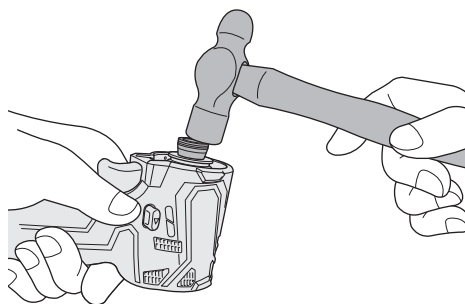
3 仮押えした端子・スリーブに電線を差し込む

- 心線がわずかに見える位置まで差し込んでください。



4 スイッチを引き込み圧着を行なう

- 連続して圧着を行なうと、インパクト動作ができず、圧着ができなくなる場合があります。この場合は、圧着アタッチメントを取りはずし、本体のビットホルダーをハンマーなどで打撃するとインパクト動作が復活します。

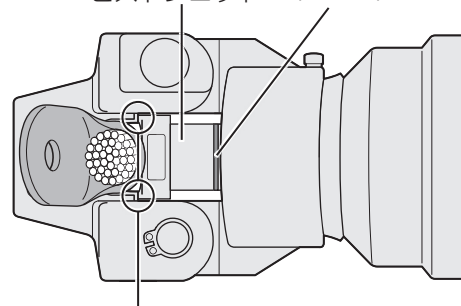


5 圧着状態を確認する

- オスダイスとメスダイスが接触すれば圧着完了です。作業完了後、ピストンロッドに適正な圧着力を示す圧着完了ラインがあらわれますが、これは目安としてください。

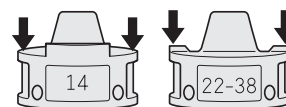
オスダイスとメスダイスが接触すると同時にインパクト音が変わります。音の変化が確認されたときが圧着完了のサインになります。圧着完了と同時に直ちにドライバーの動作を停止してください。圧着完了状態のまま圧着動作を続けるとバッテリーの無駄な消費だけでなく、破損や寿命低下の原因となります。

圧着完了ライン
ピストンロッド (赤い帯)

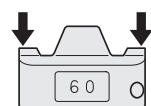


オスダイスとメスダイスが接触するまで操作してください。

圧着完了時のオスダイスのメスダイスとの接触部分



オスダイス 14-38



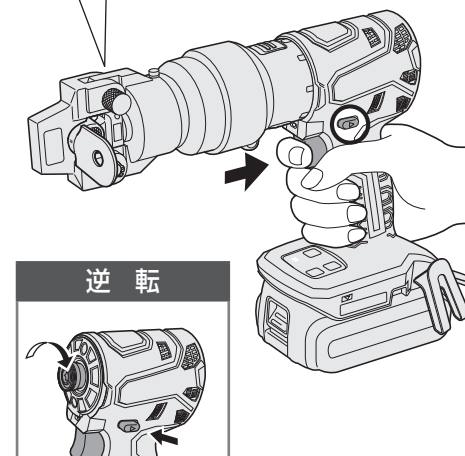
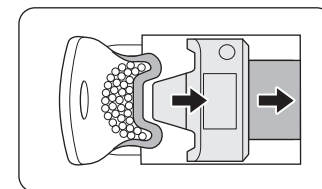
オスダイス 60

警告

- オスダイスとメスダイスが接触しないときは、作業をすぐに中止し修理に出す。圧着不良を起こし発熱して火災事故をまねくおそれがあります。

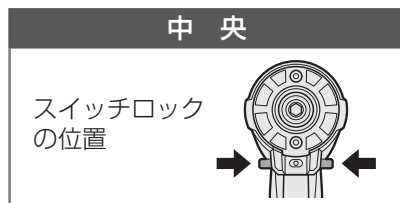
操作を続けてもオスダイスとメスダイスが接触しないときは、一旦作業を中止し電池パックを充電してください。充電後、作業を再開してもオスダイスとメスダイスが接触しないときは故障のおそれがあります。ただちに修理をご依頼ください。

6 ドライバー本体のスイッチを引き、逆転させてオスダイスを戻す



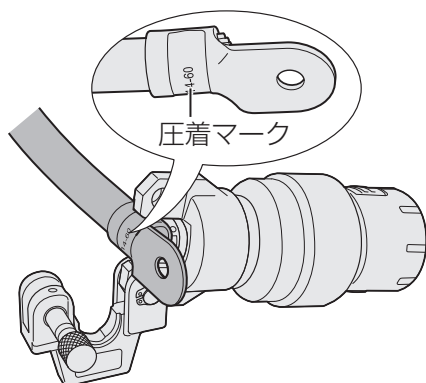
圧着アタッチメント:作業終了

- 1** 正逆切替スイッチを中央で止め、
スイッチロックの位置にする



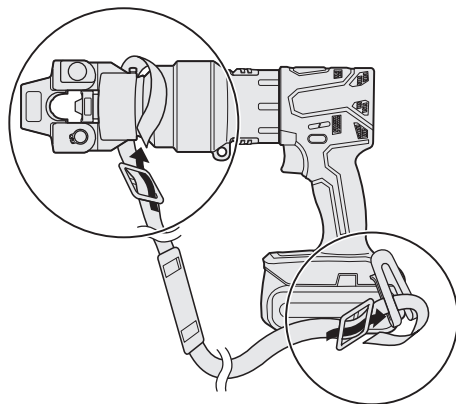
- 2** メスダイスを開いて
圧着した端子・スリーブを
取り出す

- 端子・スリーブの圧着部分には、
圧着マークが表示されています。



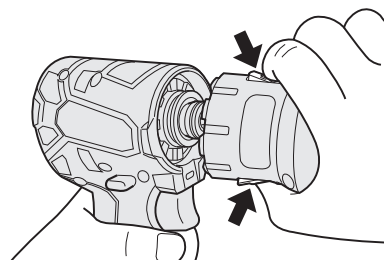
- 3** 肩掛けベルトを取りはずす

- 「4」持ち運びに便利な肩掛けベル
トを取り付ける「P12参照」
と逆の手順で、肩掛けベルトを取
りはずしてください。



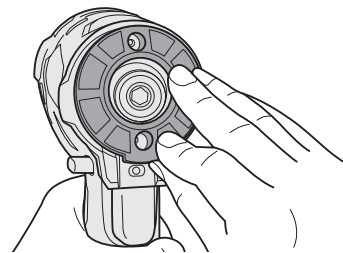
- 4** 電池パックをはずしてから、
アタッチメントを取りはずす

- アタッチメントの固定解除ボタン
2つを同時に押しながらドライバー
本体から取りはずす

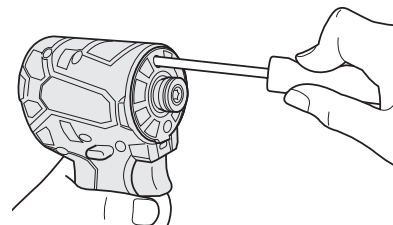


- 5** プロテクターを取り付ける

- ① 向きを合わせてプロテクターを
取り付ける



- ② プロテクター固定ネジ2本を
締め付ける



ケーブルカッターアタッチメント:準備～作業～終了

作業中のご注意

警告

●使用中は振り回されないよう本体を確実に保持する。
けがのおそれがあります。

●高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめ、本体とアタッチメントが落下しないようにワイヤーなどで保持する。
本体が落下してけがをするおそれがあります。

●アタッチメント、付属品の交換時、本体保管時は必ず電池パックを本体からはずす。
守らないと不意に動作して事故になるおそれがあります。

●ケーブルカッター刃交換時は、刃に触れない。
けがのおそれがあります。

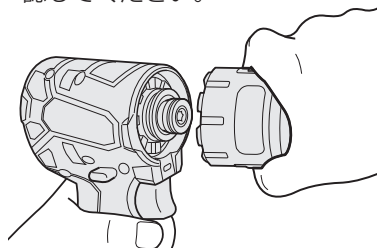
●本体を雨や水のかかるところで使用しないでください。故障の原因になります。
●本体が熱くなったら作業を中断し、温度が下がってからご使用ください。
●高圧線の近くなど、電磁波の多いところでは誤動作をおこす可能性があります。誤動作がおきた場合は、電池パックを取りはずして再度取り付けてください。

●インパクトドライバー使用時は強モードでの作業をおすすめします。(強モード以外では完全に圧着できない場合があります)

1 電池パックをはずしてから、アタッチメントを取り付ける

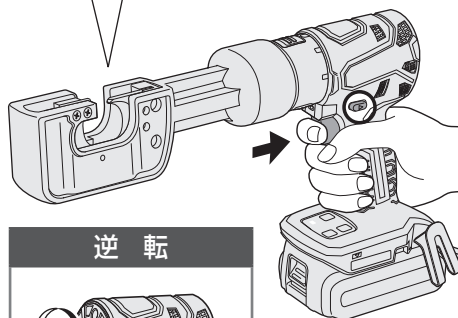
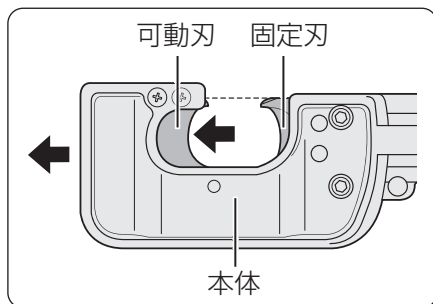
取り付けたい角度(8方向あります)に合わせて本体に押し付けて固定する(カチッと音がすると取付完了です)

●アタッチメントを軽く引っ張って、本体からはずれないことを確認してください。

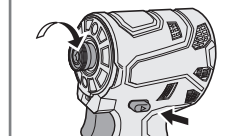


2 電池パックを取り付ける

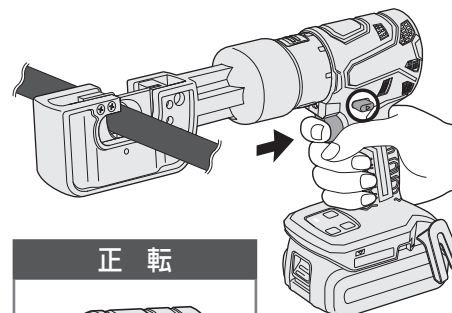
3 ドライバーを逆転させ本体を前進させて刃を開く



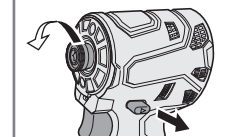
逆転



4 ケーブルを切断部に挿入し、ドライバーを正転させて切断する



正転

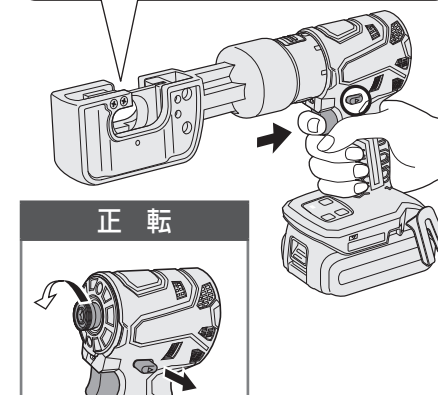
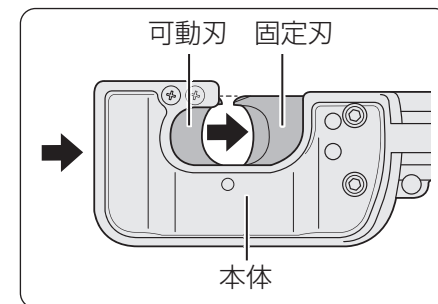


警告

●作業中は可動部に触れない。
けがのおそれがあります。

- 切断対象外の線材
 - ・素線径φ0.6 mm未満の線材
 - ・銅、アルミニウム以外の線材(ピアノ線、ACSR、鋼線、鉄線など)
- ケーブルの種類により、介在物等が切れ残る場合があります。
- 切断面はフラットではありません。
- 作業中刃が開かなくなったときは、介在物が刃のすき間にかみ込まれている場合があります。その場合は、電池パックをはずして、介在物を取り除いてください。

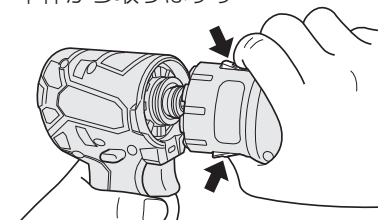
5 ドライバーを正転させ本体を後退させて刃を収納する



正転

6 電池パックをはずしてから、アタッチメントを取りはずす

アタッチメントの固定解除ボタン2つを同時に押しながらドライバー本体から取りはずす



注意

●ケーブルカッターは、必ず刃を閉じた状態で保管する。
けがや故障のおそれがあります。

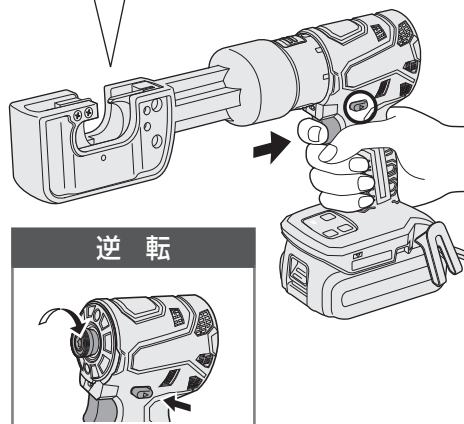
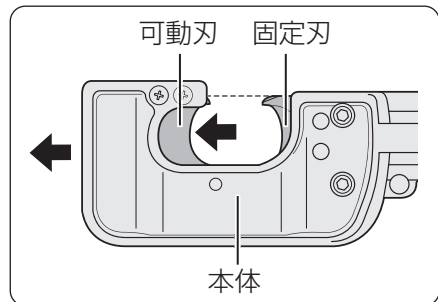
使いかた

ケーブルカッターアタッチメント:準備・メンテナンス

刃を交換する

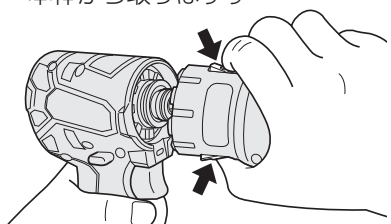
1 ケーブルカッターの刃を全開にする

ドライバーに装着し、ドライバーを逆転させ本体を前進させて刃を全開にする



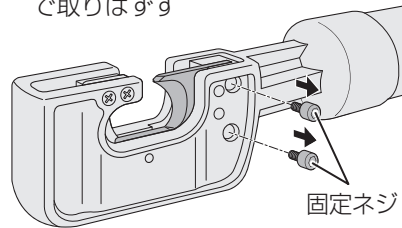
2 電池パックをはずしてから、アタッチメントを取りはずす

アタッチメントの固定解除ボタン2つを同時に押しながらドライバー本体から取りはずす

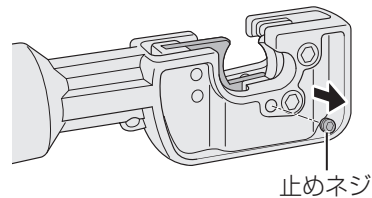


3 固定刃を取りはずす

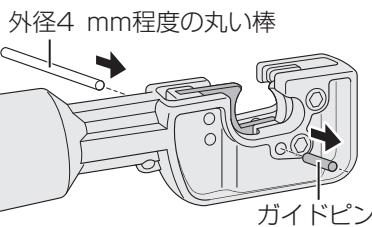
①固定刃を止めている固定ネジ2個を、付属の六角レンチ(3 mm)で取りはずす



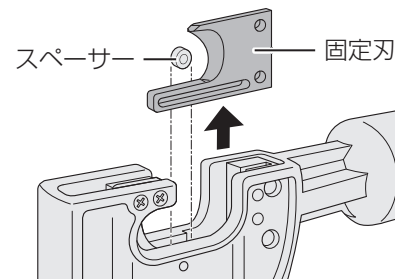
②ガイドピンの止めネジを付属の六角レンチ(3 mm)ではずす



③反対側の穴より外径4 mm程度の丸い棒を差し込み、ガイドピンを押し出す



④スペーサーと固定刃を取りはずす



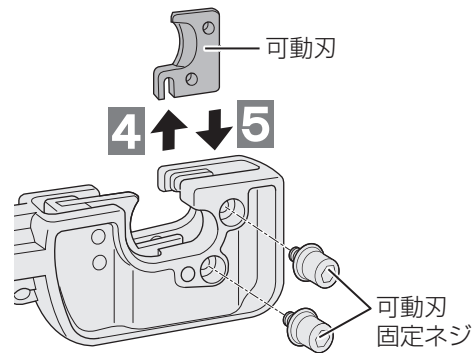
●固定刃はスペーサーを落とさないようにゆっくりと取りはずしてください。

4 可動刃を取りはずす

可動刃を止めている可動刃固定ネジ2個を、付属の六角レンチ(5 mm)で取りはずし、可動刃を取り出す

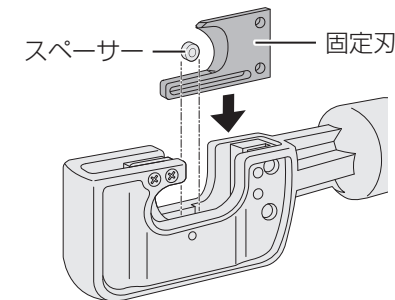
5 可動刃を取り付ける

可動刃を差し込み、可動刃固定ネジ2個を六角レンチ(5 mm)で締め付ける

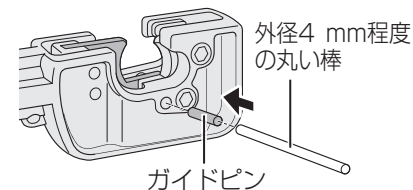


6 固定刃を取り付ける

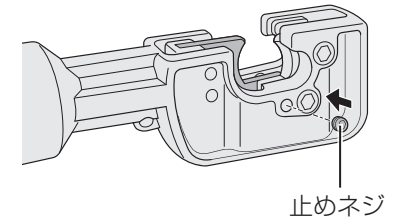
①固定刃を差し込み、スペーサーを穴の位置にあわせる



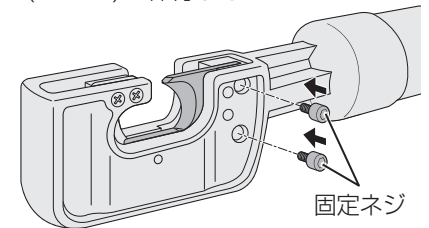
②外径4 mm程度の丸い棒でガイドピンを押し込む



③止めネジを付属の六角レンチ(3 mm)で締付ける

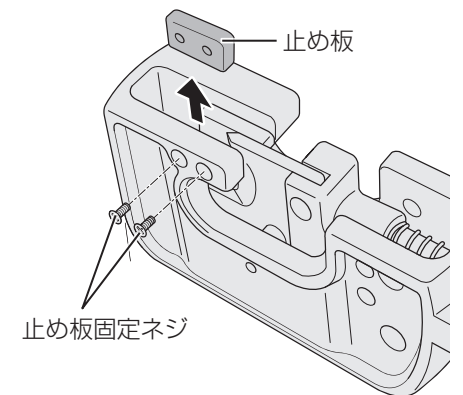


④固定ネジ2個を付属の六角レンチ(3 mm)で締付ける



ケーブルの切断片が詰まったときは

ケーブルの切断片が可動刃と固定刃の間につまって動かなくなった場合は、ドライバーで止め板固定ネジをはずし、止め板を抜き取り、切断片を取りのぞいた後、再び止め板を取り付ける



使いかた

能力

作業量

<1回のフル充電による使用能力>

● EZ1PD1(強モード)・EZ9L54使用時/周囲温度20℃

数値は目安です。電池パック性能の変化、電線・端子・スリーブの種類により、多少変動します。

EZ9HX502:圧着アタッチメント

種類	公称断面積	圧着回数
CV線(単心)	14 mm ²	約310回
	22 mm ²	約220回
	38 mm ²	約105回
	60 mm ²	約100回

EZ9HX503:ケーブルカッターアタッチメント

種類	公称断面積	切断回数
CV線(単心)	100 mm ²	約370本
	38 mm ²	約1000本

適応用途

EZ9HX502:圧着アタッチメント

圧着範囲	14 sq ~ 60 sq
------	---------------

EZ9HX503:ケーブルカッターアタッチメント

最大切断能力	CV線(単心)	100 mm ² (φ19)
	IV線(単心)	100 mm ² (φ17)

仕様

品番		EZ9HX502 (圧着アタッチメント)	EZ9HX503 (ケーブルカッターアタッチメント)
対応機種		EZ1PD1	
大きさ (概略寸法)	全長	176 mm	210 mm(収納時)
	全幅	63 mm	55 mm
	全高	68 mm	68 mm
質量(重量)		約1600 g	約840 g
圧着	圧力	40 kN	—
	圧着 サイズ	14 mm ² ~ 60 mm ²	—
	オス ダイス	14 mm ² ~ 38 mm ² / 60 mm ²	—
	メス ダイス	14 mm ² ~ 60 mm ²	—
Cカッター	口径	—	φ19 mm
	切断可能 最小線径	—	φ0.6 mm
	切断 サイズ	—	CV・IV線(単心)で ~100 mm ²

パナソニック お客様ご相談窓口のご案内

■ 転居などでお困りの場合は、以下のお客様相談窓口にご相談ください。



商品のお問い合わせは

電設資材商品ご相談窓口

<https://sumai.panasonic.jp/support/>



【受付時間】 月～土 / 9:00～18:00 (祝日・三が日を除く)



個人のお客様 **0120-878-082**

法人のお客様 **0120-187-431**

※携帯電話からもご利用になれます。

● 上記番号がご利用いただけない場合は… 個人のお客様 **06-6780-2551**

● FAX… **0120-872-460** 法人のお客様 **06-6904-4574**

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo(03)3256-5444 Osaka(06)6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)



修理のご用命は

修理ご相談窓口

<https://sumai.panasonic.jp/support/repair/>



【受付時間】 月～土 / 9:00～19:00 日・祝日・年末年始 / 9:00～18:00



パナニイコー
0120-872-150

※携帯電話からもご利用になれます。

● 上記番号がご利用いただけない場合は… **06-6906-1090**

※ 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)

※ ご使用の回線 (IP電話やひかり電話など) によって、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

※ 上記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。

※ 所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 エナジーシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2022

EZ9010HX50201 Y0822-0